

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3単位	年次	1年
使用教科書	New Rays English Communication I(桐原書店)						
副教材等	Listening Essentials 1.5(啓隆社) CNN Workbook Intensive Course(朝日出版社) システム英単語 (駿台文庫) 英熟語ターゲット1000(旺文社)						

### 1 授業及び学習の方法等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」という4技能の力を身に付けることを目標とする。</li> <li>・英文を事前に読んでくることを予習とする。ただしその英文の概要について、簡単に説明ができるくらいまで繰り返し読んでくることとする。</li> <li>・音読活動を通して、英語のリズムやイントネーションの習得をめざす。</li> <li>・リスニング課題やauthenticな教材を用いたリスニングを行うことで、英語の聴解力を高める。</li> <li>・英文を要約したり、内容について質疑応答することで、英文についての理解を深める。</li> <li>・読んだ英文のトピックをもとに、自分の意見をまとめたり、クラスメイトと意見交換をする。</li> <li>・定期的に小テストを実施することで語彙力をつける。</li> </ul>
--

### 2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度まとまりのある英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。</li> <li>・身近な話題に関して説明をしたり、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落を持った英文を書くことができる。</li> <li>・なじみのあるトピックについて、ゆっくりはっきり話されれば、その要点を理解することができる。</li> <li>・なじみのあるトピックについて、準備時間を与えられれば、自分の意見を加えた発表をすることができる。</li> </ul>
---

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	教科書で扱う英文について関心を持ち、クラスメイトとの意見交換などを通して、内容についての知識を深めようとしている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行っている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表</li> <li>・提出物</li> <li>・目標設定シート</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期中間	L e s s o n s  1 ~ 3	1. アメリカ人で日本文学研究者のロバート・キャンベル氏が、自身の幼少期、日本文化と出会い、現在に至るまでの経緯、そして高校生へのメッセージを語るストーリーを友人に伝える。 2. デザインの魅力、役割、人々に与える影響力や効果などについて自分が感じたことを述べる。 3. プラスティックごみの自然界及び人間の健康に与える深刻な悪影響とそれに対する解決策を探ることについてクラスで発表する。	a: 基本時制や文構造、態を理解している。 b: キャンベル氏についての記事やデザインに関するレポート、プラスチックごみの現状に関する投稿文を読んで概要を捉えている。 c: キャンベル氏の経歴やデザインの持つ力、プラスチックごみ問題解決に向けての取り組みについて自分の中でわかりやすく整理して話そうとしている。
前期期末	L e s s o n s  4 ~ 6	4. 人型分身コミュニケーションロボット“OriHime”について、その特徴や大切な役割について友人に伝える。 5. ルームシェアをしている日本人とサウジアラビア人の学生が成長する過程を描いた日本の漫画の著者へのインタビューを通して異文化交流、イスラム教などの知識を深め、それについてまとめる。 6. インドのスラム街で、10代の青少年たちが自ら新聞を発行し、貧困の惨状を世の中に訴えようと奮闘している。その様子を説明する。	a: 関係代名詞の制限用法や準動詞(不定詞、動名詞、分詞)の特徴やきまりを理解している。 b: 人を癒すロボットや世界に進出している日本の漫画、ジャーナリズムに関する英文を読んで、概要やメッセージを捉えている。 c: ロボットの効果的な活用法や海外進出している日本の漫画やジャーナリズムおよびメディアについてわかりやすく話そうしたり、自分の意見を理由とともに述べようとしている。
後期中間	L e s s o n s  7 ~ 9	7. 火星への人類の移住の可能性とその問題点などを通して宇宙開発について友人に伝える。 8. 異人種間の結婚が禁止されていた1950~60年代のアメリカの状況について学び、公民権運動とその背景を考察する。 9. 江戸の庶民の回復力や力強さ、知恵を紹介する。自然災害の絶えない現代社会を生き抜く術を江戸時代の文化から学びそれを説明する。	a: 助動詞、関係詞、仮定法の特徴やきまりを理解している。 b: 宇宙開発、人種差別およびアメリカの公民権運動、江戸が持続可能な点において優れた都市であったことに関する英文を読み、要点を捉えている。 c: 火星探索、人種差別、持続可能な都市づくりについて、ディベートや発表などで具体例を示しながらわかりやすく説明しようとしている。
後期期末	L e s s o n s  1 0 + L e s s e s s e s	10. 世界には教育の機会を与えられない国や地域があることを学び、教育と貧困の問題は深くかかわっていると指摘する活動家のインタビューを通して、問題の打開策を模索し、自分の見解を述べる。 1. あるWHO医務官がなぜ医師を目指したのか、さらになぜ危険な現場で目に見えない病原菌と闘い続けるのかという話を学び、まとめる。 2. 私たちにとって身近な文房具の開発や進化の歴史を読み、文房具の未来について考える。	a: 目的語になるthat節, wh節, if節および強調構文の特徴やきまりを理解している。 b: 世界の教育の現状、病原菌との闘いに挑むWHO医務官、文房具の歴史とこれからのについての英文を読み、要点を捉えている。 c: 教育の機会を与えられるのが当たり前ではないこと、また世界の教育や危険な現場で病原菌と闘う医師の現状および文房具についてレポートしたり、クラスメイトと意見交換やディスカッションすることを通して、相手にわかりやすく自分の考えを伝えようとしている。

	0 n 1 ~ 2		
--	-----------------------	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能， b:思考・判断・表現， c:主体的に取り組む態度 である。

教科	英語	科目	論理・表現 I A	単位数	1	年次	1
使用教科書	MAINSTREAM English Logic and Expression I (増進堂)						
副教材等							

### 1 授業及び学習の方法等

AETとJETによるチームティーチングで授業を行う。  
教科書やオンライン教材、アプリ等を活用し英語で多様な考え方を主体的・能動的に学び、各セメスターの最後に、自分の考えを表現する活動(パフォーマンステスト)を実施する。  
英語の発音の正確性と流暢さを向上させるために、吹き込んだ内容をAIが判定するトレーニングを日々の課題として取り入れる。

### 2 学習の到達目標

情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力をさらに伸ばすとともに、この能力を活用して主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定して、次のようなコミュニケーション活動を行う。

<聞くこと>

日常的な話題について、自然な速さで話された事物の紹介や対話を聞いて、概要や要点をとらえることができる。

<話すこと>

1. 日常的な話題について、自分が伝えようとする情報や考えなどを明確にし、相手が理解しやすいように、伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。

2. 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいての支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通じて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。

<書くこと>

1. 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいての支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。

2. 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいての支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。

なお、これらの到達目標を達成するために必要な英語の語彙については、授業内で随時取り上げる。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について、評価基準を用いて形成的評価をするとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身に着けているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付いているかを評価する。
評 価 方 法	・定期考査 ・授業中の小テスト ・提出物	・定期考査 ・言語活動の取り組み ・提出物 ・パフォーマンステスト	・言語活動の取り組み ・授業の振り返り ・提出物 ・パフォーマンステスト

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間	L3 L5 L6 S1	1. 題材内容 L5: Are You in a Club? L6: My Town L3: My Treasure S1: Making a Speech  2. 言語材料 ・進行形 ・過去形 ・現在完了形 ・現在完了進行形 ・スピーチ	1a: 自分の身の回りのことに関して発話するための語彙や表現を、学習を通じて増やすことができています。また、スピーチを効果的に行うための技能を理解し、実際に活用している。 1b: 自分の大切なものについて、自身の経験を踏まえながら、説得力を持たせるための情報の取捨選択をしている。また、学んだことをもとに自己表現を行っている。 1c: 学習した内容を基に、自分の考えなどを自立的に伝え合おうとしている。 2a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。 2c: 各自が持つ課題点を解決するための工夫や取り組みを書こうとしている。
前期 期末	L7 L8 L9 L10 L16 S2 S3	3. 題材内容 L9: What Can We Do for Ken? L8: Taking Part in the School Festival L10: Places Bob's Father Should Visit L16: Japanese Food L7: What I Did during the Summer Vacation S2: Presentation S3: Discussion Techniques  4. 言語材料 ・不定詞 ・動名詞 ・分詞 ・過去完了形 ・比較 ・プレゼンテーション(個人) ・ディスカッション(発表は後期)	3a: 疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションやディスカッションスタイルに対応した適切な用法を理解している。また、学校生活などの自分の身の回りのことに関して発話するための語彙や表現を、学習を通じて増やすことができています。また、プレゼンテーションやディスカッションを効果的に行うための技能を理解し、実際に活用している。 3b: データや自己と他者の経験などの根拠をもとに、自分の考えを効果的に表現している。 3c: 学習した内容を基に、自分の考えなどを自立的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。 4a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。 4c: 各自が持つ課題点を解決するための工夫や取り組みを書こうとしている。
後期 中間	L11 L12 S2 S3	5. 題材内容 S3: Discussion Techniques L11: Is Summer Better than Winter? L12: A Real Dog or a Robot Dog? S2: Presentation  6. 言語材料 ・助動詞 ・受け身 ・ディスカッション(発表) ・プレゼンテーション(グループ)	5a: 学校生活などの自分の身の回りのことに関して発話するための語彙や表現を、学習を通じて増やすことができています。また、スピーチを効果的に行うための技能を理解し、実際に活用している。 5b: データや自己と他者の経験などの根拠をもとに、自分の考えを効果的に表現している。 5c: 学習した内容を基に、自分の考えなどを自立的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。 6a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。 6b: 日常的な話題において、比較を交えながら、自分の意見を説得力と一貫性を伴って伝えている。 6c: 各自が持つ課題点を解決するための工夫や取り組みを書こうとしている。

後 期 期 末		7. 題材内容 L13: Should Calligraphy Be a Required Subject? L14: An Impressive Book L15: Volunteer Activities L17: Go Green	7a: 日常的・社会的な話題に関して発話するための語彙や表現を、学習を通じて増やすことができています。また、スピーチを効果的に行うための技能を理解し、実際に活用しています。また、論理展開が明確で直線的な文章を書いたり話したりするための技能を身に付けています。 7b: データや自己と他者の経験などの根拠をもとに、自分の考えを効果的に表現しています。 7c: 学習した内容を基に、自分の考えなどを自立的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。 8a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。 8b: 日常的な話題において、様々な情報を活用しながら、自分の意見を説得力と一貫性を伴って伝えている。
	L14	8. 言語材料	
	L15	・仮定法	
	L16	・関係代名詞・関係副詞	
	L17	・接続詞 ・否定 ・スキット	

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

教科	外国語	科目	論理・表現 I B	単位数	1単位	年次	1年
使用教科書	—						
副教材等	チャート式 基礎からの新々総合英語(数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages(数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages Workbook(数研出版)						

### 1 授業及び学習の方法等

- ・論理・表現 I の授業は、「話すこと(やり取り、発表)」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する科目です。
- ・発表活動やディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通じて、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える、または伝え合うことができるようになるための文法を含め、学習を行います。
- ・実際のコミュニケーションの中で、その文法はどのように使われるか、ということ意識して学習しましょう。

### 2 学習の到達目標

- 【話すこと(やりとり)】  
 適切に文法を活用し、日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通じて必要な情報を得たりすることができる。
- 【話すこと(発表)】  
 日常的な話題について、使用する語句や分、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。
- 【書くこと】  
 適切に文法を活用し、日常的な話題について、使用する語句や分、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英語の特徴やきまり、文法項目を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語を聞いたり、読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現することができる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語を聞いたり、読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現しようとしている。
評 価 方 法	定期テスト 単元テスト 小テスト等	定期テスト 単元テスト パフォーマンス課題等	リフレクション等

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間		チャート式 基礎からの新々総合英語(数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages (数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages Workbook (数研出版) 1～12 (文の種類・時制・完了形・助動詞等)	a: 文の種類や時制などの表現の形・意味・用法を理解している。また, 自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身に付けている b: 場面や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合っている c: 自身の活動を振り返りながら, 場面や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合っている
前期 期末		チャート式 基礎からの新々総合英語(数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages (数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages Workbook (数研出版) 13～24 (助動詞・動詞の態・不定詞・動名詞・分詞等)	a: 助動詞や動詞の態などの表現の形・意味・用法を理解している。また, 学んだ知識を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身に付けている b: 相手の立場や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 相手にわかりやすく説明するなどして, 自分の考えや気持ちなどを伝え合っている c: 相手の立場や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 相手にわかりやすく説明するなどして, 自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている
後期 中間		チャート式 基礎からの新々総合英語(数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages (数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages Workbook (数研出版) 25～36 (比較・関係詞・仮定法・否定等)	a: 比較や関係詞などの表現の形・意味・用法を理解している。また, 学んだ知識を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている b: 相手の知識や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 聞き手の注意を引いたりして, 自分の考えや気持ちなどを, 聞き手にわかりやすく話して伝えている c: 相手の知識や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 聞き手の注意を引いたりして, 自分の考えや気持ちなどを, 聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている
後期 期末		チャート式 基礎からの新々総合英語(数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages (数研出版) Grand View English Grammar in 48 Stages Workbook (数研出版) 37～48 (強調・接続詞・名詞・冠詞・代名詞・前置詞等)	a: 強調や接続詞などの表現の形・意味・用法を理解している。また, 学んだ知識を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合う基本的な技能を身につけている b: 場面や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 相手が具体的な返答をしやすい形で, 自分の考えや気持ちなどを書いて伝えている c: 場面や状況を理解し, 適切な表現を用いて, 相手が具体的な返答をしやすい形で, 自分の考えや気持ちなどを書いて伝えようとしている

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。



教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3単位	年次	2年
使用教科書	CROWN English Communication II(三省堂)						
副教材等	Cutting Edge Blue(エミル出版) Listening Essentials 1.5(啓隆社) 夢をかなえる英単語 新ユメタン2(アルク)						

### 1 授業及び学習の方法等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」という4技能の力を身に付けることを目標とする。</li> <li>・英文を事前に読んでくることを予習とする。ただしその英文の概要について、簡単に説明ができるくらいまで繰り返し読んでくることとする。</li> <li>・音読活動を通して、英語のリズムやイントネーションの習得をめざす。</li> <li>・英文を要約したり、内容について質疑応答することで、英文についての理解を深める。</li> <li>・読んだ英文のトピックをもとに、自分の意見をまとめたり、クラスメイトと意見交換をする。</li> </ul>
---

### 2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度まとまりのある英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。</li> <li>・身近な話題に関して説明をしたり、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落を書くことができる。</li> <li>・なじみのあるトピックについて、ゆっくりはつきり話されれば、その要点を理解することができる。</li> <li>・なじみのあるトピックについて、準備時間を与えられれば、自分の意見を加えた発表をすることができる。</li> </ul>
---

### 3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	教科書で扱う英文について関心を持ち、クラスメイトとの意見交換などを通して、内容についての知識を深めようとしている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行っている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・発表</li> <li>・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・発表</li> <li>・提出物</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間	L e s s o n s  3 ~ 4	3. 障がい者のために活動するジョシュ・グリズデイルさんの活動や, 観光バリアフリーについて, 理解して考えを深めることができる.  4. 貫戸朋子医師の活動と決断や, その他の重大な決断を迫られる人々について考えを深めることができる.	a: 分詞構文や関係詞, 不定詞の特徴やきまりを理解している.  b: 障がい者のための活動や観光バリアフリーに関する英文や, 国境なき医師団についてのレポートを読んで概要を捉えている.  c: 京都への遠足での経験から観光バリアフリーについて意見を交換する。自分のこれまでを振り返り, 重大な決断とその影響について, わかりやすく整理して話そうとしている.
前期 期末	L e s s o n s  5 ~ 6	5. メンタル・タフネスの考え方について, 理解して考えを深めることができる.  6. サクラダファミリアの主任彫刻家の外尾悦郎さんの生き方や職業選択について, 理解して考えを深めることができる.	a: 関係詞や無生物主語, 助動詞の特徴やきまりを理解している.  b: スポーツにおけるメンタル・タフネスに関する雑誌記事や, 外尾悦郎さんのインタビュー記事を読んで, 概要やメッセージを捉えている.  c: 困難な状況に立つ自分を想定し, 効果的なセルフトークについて考えたり, 自分の将来の職業について理由とともにわかりやすく話そうとしている.
後期 中間	L e s s o n s  7 ~ 8	7. バイオミクリーや自然と人間の共存について, 理解して考えを深めることができる.  8. コートジボワールのカカオ農園の女性たちの活動やフェアトレードについて, 理解して考えを深めることができる.	a: 仮定法や不定詞の特徴やきまりを理解している.  b: 自然の模倣から新しいデザインを生み出すバイオミクリーについての論説文や, コートジボワールのカカオ農園についてのレクチャーを読み, 要点を捉えている.  c: バイオミクリーを使った身の回りの発明品についてわかりやすく発表したり, フェアトレードを広めるための方策について友人と意見交換しようとしている.
後期 期末	L e s s o n s  9 ~ 10	9. 人びとのよりよい選択を手助けする仕組みナッジについて, 理解して考えを深めることができる.  10. 宇宙探査について, 理解して考えを深めることができる.	a: 未来進行形や未来完了形, 倒置の特徴やきまりを理解している.  b: ナッジの考え方やその実例についての英文や, リチャード・ドーキンス博士の論説文を読み, 必要な情報を読み取り, 概要や要点, 詳細を捉えている.  c: 学校内の問題を解決するためのナッジについて論理性に注意して話そうしたり, 地球外生命体の可能性についてクラスメイトとディスカッションすることを通して, 相手にわかりやすく説明しようとしている.

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

教科	英語	科目	論理表現Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年
使用教科書	MAINSTREAMⅡ(増進堂出版)						
副教材等	Readers' Forum 2 Everyday English(南雲堂出版) Active Writing(第一学習社)						

### 1 授業及び学習の方法等

週2時間の授業のうち、1時間は南雲堂の「Everyday English」の読解を行う。  
1月以降はテキスト以外の読み物教材を資料する予定である。  
あと1時間をALTとのTTを行う。TTの授業では、読んだ英文に関連するテーマでディスカッションやプレゼンテーション、ディベート等の表現活動を中心に行う。

### 2 学習の到達目標

「Everyday English」でボリュームのある英文を読み、総合的な読解力を身につける。  
読んだ英文に関連するテーマで表現活動を行うことで、「話すこと」「書くこと」を中心とした発信能力を育成する。  
和文英訳のトレーニングを行い、英作文の書き方の基礎を習得する。

### 3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語での自己表現を豊かにする語彙力や文法力を身につけている。</li> <li>まとまった英文の内容を把握することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な立場になった意見を英語で表現することができる。</li> <li>聞き手や読み手に、明確に自分の意見をつたえることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に言語活動に参加している。</li> <li>課題に前向きに取り組んでいる。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>提出物</li> <li>小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>提出物</li> <li>発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表</li> <li>小テスト</li> <li>提出物</li> </ul>

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間		1. Everyday English Lesson 1, 2, 4, 5 2. Mainstream Lesson 3, 5, 6 3. Active Writing Lesson 1~5	a: 長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b: 「教育」「旅行」をテーマとしたディスカッションやプレゼンテーションで、自分の意見を的確に表現できる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。発表の準備を怠らず、発表後のフィードバックでは客観的に自己評価できる。
前期 期末		1. Everyday English Lesson 3, 6~11 2. Mainstream Lesson 7, 9 3. Active Writing Lesson 6~11	a: 長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b: 「食」「SNS」をテーマとしたディスカッションやライティング課題で、自分の意見を的確に表現できる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。英作文をドラフト作成から完成まで段階を踏んで取り組むことができる。
後期 中間		1. Everyday English Lesson 12~15 他読み物教材 2. Mainstream Lesson 8, 12 3. Active Writing Lesson 12~17	a: 長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b: 「環境」「スポーツ」をテーマとしたディスカッションやディベートで、自分の意見を的確に表現できる。 c: 日々の活動に積極的に取り組んでいる。またプレゼンテーションを客観的に振り返り、自己評価できる。
後期 期末		1. 読み物教材 2. Mainstream Lesson 10, 11 3. Active Writing Lesson 18~22	a: 長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b: 「言語」「文化」をテーマとした英作文で、自分の意見や考えを豊かな表現を使用して表すことができる。 c: 日々の活動に積極的に取り組んでいる。教材以外の記事やコラム等を積極的に探して情報収集をしている。

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年
使用教科書	PRO-VISION English CommunicationⅢ(桐原書店)						
副教材等	Clues to Reading 英文和訳の徹底演習 Listening Essentials 2.5 五訂版(啓隆社) READING TEST 40 minutes×14共通テスト英語模擬演習 TRY30共通テスト英語リスニングオリジナル問題集 英単語ターゲット1900六訂版						

### 1 授業及び学習の方法等

- ・英語コミュニケーションⅢの授業は、「聞くこと」、「話すこと(やり取り、発表)」、「読むこと」、「書くこと」という4技能5領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて、話したり書いたりする言語活動を多く行います。
- ・日常的、社会的話題を取り扱いながら、より学術的な内容や様々な事象を多角的に捉える内容を扱います。
- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習しましょう。

### 2 学習の到達目標

- 【聞くこと】  
身近なトピックや知識のある社会的なテーマに関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。
- 【読むこと】  
身近なトピックに関する300語程度の記事やレポート等から、必要な情報を読み取ることができる。
- 【話すこと(やりとり)】  
身近なトピックや知識のあるテーマについて、簡単な語や表現を用いて意見や情報を交換することができる。
- 【話すこと(発表)】  
身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明することができる。
- 【書くこと】  
自分のこれまでの経験や身近なトピックについて、複数の段落から成る説明文を書くことができる。

### 3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 方 法	定期テスト 単元テスト 小テスト等	定期テスト 単元テスト パフォーマンス課題等	リフレクション等

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間	L 5 ～ L 8	<p>1.“Running Out of Water”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境</li> </ul> <p>環境に関する知識や資源を大切にする意識の生成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に関する表現</li> <li>・天然資源に関する語彙</li> </ul> <p>2.“Unbeaten Tracks in Japan”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化、歴史</li> <li>・歴史的変遷の中で日本が得たもの失ったものの考察</li> <li>・提案助助言に関する表現</li> </ul> <p>3.“Why Is Dishonesty So Interesting?”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理学</li> </ul> <p>人の心理や行動パターンの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁止に関する表現</li> <li>・心理に関する語彙</li> </ul> <p>4.“The Calculator War”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス</li> </ul> <p>科学技術に関する変遷の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較対照に関する表現</li> <li>・科学に関する語彙</li> </ul> <p>Listening Essentials 1～10</p> <p>英単語ターゲット1900六訂版 随時復習</p>	<p>a:環境や日本文化等に関する語句などの意味や働きを理解している</p> <p>b:環境や日本文化等に関する英語で書かれた説明文を読み、概要を捉えている</p> <p>c:環境や日本文化等に関する英語で書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている</p>
		<p>5.“A Portrait of E.T.”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙生物</li> </ul> <p>人類の存在に関する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的理由に関する表現</li> </ul> <p>宇宙に関する語彙</p>	<p>a:情報を事実と意見に精緻する技能を身に付けている</p> <p>b:宇宙生物や科学技術等に関する説明文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している</p> <p>c:ビジネスや科学技術等に関する説明文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている</p>

前期期末	L9 ～ L12	<p>6.“Smart Machines and the Future of Jobs”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術</li> </ul> <p>変革の時代の生き方に関する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因結果に関する表現</li> <li>・経済に関する語彙</li> </ul> <p>7.“The Discovery of DNA”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学</li> </ul> <p>科学と人は踏み込める生命の領域に関する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の表現</li> <li>・生命に関する語彙</li> </ul> <p>8.“How Language Shapes Thought”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語</li> </ul> <p>言語習得や言語の意義に関する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験調査に関する表現</li> </ul> <p>Listening Essentials 11～20</p> <p>英単語ターゲット1900六訂版 随時復習</p>	
後期中間		<p>Clues to Reading 英文和訳の徹底演習 READING TEST 40 minutes×14共通テスト英語模擬演習 TRY30共通テスト英語 リスニングオリジナル問題集 (共通テスト対策・二次試験長文英作演習等)</p>	<p>a:多様な話題について書かれた文章を読み、概要を捉える技能を身に付けている</p> <p>b:多様な話題について書かれた文章を読み、概要を捉えている</p> <p>c:多様な話題について書かれた文章を読み、概要を捉えようとしている</p>
後期末	—	<p>Clues to Reading 英文和訳の徹底演習 READING TEST 40 minutes×14共通テスト英語模擬演習 TRY30共通テスト英語 リスニングオリジナル問題集 (共通テスト対策・二次試験長文英作演習等)</p>	<p>a:既習文法事項等の意味及び働きを基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている</p> <p>b:多様な分野の文章を読み、概要を捉えている</p> <p>c:多様な分野について書かれた文章を読み、概要を捉えようとしている</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

教科	英語	科目	英語演習	単位数	2単位	年次	3年
使用教科書	CROWN PLUS English Series Level 4						
副教材等	なし						

### 1 授業及び学習の方法等

<p>テキストCROWN PLUSを用いて、長文読解、文法演習、和文英訳、リスニングを行う。</p>
--

### 2 学習の到達目標

<p>ボリュームのある英文を読み、総合的な読解力を身につける。          読んだ英文に関連するテーマで表現活動を行うことで、「話すこと」「書くこと」を中心とした発信能力を育成する。          和文英訳のトレーニングを行い、英作文をマスターする。</p>
--

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文読解に必要な語彙力や文法力を身につけている。</li> <li>・まとまった英文の内容を把握することができる。</li> <li>・和文英訳の書き方を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容に関する意見や要約を正確な英語で表現することができる。</li> <li>・聞き手や読み手に、明確に自分の意見をつたえることができる。</li> <li>・既知の語彙や文法を活用して、和文英訳をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に言語活動に参加している。</li> <li>・課題に前向きに取り組んでいる。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表</li> <li>・小テスト</li> <li>・振り返り</li> </ul>

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。



#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間		CROWN PLUS Lesson1~3	a: 長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b:和文英訳では、的確に英語で表現できる。 c:日々の課題に積極的に取り組んでいる。特に授業前の予習にしっかり取り組んでいる。
前期 期末		CROWN PLUS Lesson4~7	a:長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b:ディスカッションやライティング課題で、自分の意見を的確に表現できる。 c:日々の課題に積極的に取り組んでいる。特に授業前の予習にしっかり取り組んでいる。
後期 中間		CROWN PLUS Lesson8~11	a:限られた時間の中で長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b:和文英訳では的確に英語で表現できる。 c:日々の活動に積極的に取り組んでいる。特に授業前の予習にしっかり取り組んでいる。
後期 期末		CROWN PLUS Lesson12	a:長文の内容を理解し、語彙や文法を正しく理解している。 b:英作文で、自分の意見や考えを豊かな表現を使用して表すことができる。 c:日々の活動に積極的に取り組んでいる。

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年
使用教科書	なし						
副教材等	入試必携英作文(数研出版) Cutting Edge Orange(エミル出版) Reading Flash Stage 3(桐原書店) 英熟語ターゲット1000 4訂版(旺文社)						

### 1 授業及び学習の方法等

展開① 英熟語ターゲット小テスト ⇒ Cutting Edge語彙確認 ⇒ 問題演習、共有
展開② Reading Flash速読トレーニング ⇒ 必携英作文ポイント確認 ⇒ 問題演習、共有
<p>主に、国公立大学二次試験で対応できる長文読解力、英語記述力(和文英訳、自由英作文)を養うことを目標とする。また英語力の根幹をなす語彙については、1・2年次に引き続き、自宅学習及び授業内小テストにて増強を図る。</p> <p>熟語小テスト、Cutting Edge語彙、英作文ポイントについては、予習課題とする。それらを基にして授業内演習を行う。</p> <p>時間的制約のため、授業内ですべての問題を扱うことは困難な場合がある。授業で扱った問題の復習及び授業で扱うことができなかった問題の演習は、自宅で取り組むことを推奨する。</p>

### 2 学習の到達目標

<p>・英語学習の基盤をなす語彙力を向上させる。【知識・技能】</p> <p>・既定の時間内である程度の長さのあるまとまった英文を読み、トピックや各段落の大意をつかんだうえで、設問に対する答え方を身につける。【思考・判断・表現】</p> <p>・英作文の基本的な書き方を身につける。【知識・技能】</p> <p>・日本語の書きかえ方を検討し、自分が言いたいことを的確に表現できるようになる。【思考・判断・表現】</p>
---

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>【読解】文章を読み、パラグラフや文全体の大意をつかむことができる。</p> <p>【英作】英作文の基本的な書き方を理解し、それを英作文をする際に活用できる。</p>	<p>【読解】筆者の意見や様々な立場の意見に対して、自分の考えを持ち、それを英語で表現できる。</p> <p>【英作】日本語にとらわれずに、豊かな語彙やパラグラフ・ライティングのスキルなどを用いて、自分が言いたいことを的確に表現できる。</p>	<p>【読解】【英作】苦手な分野を把握し、それを克服するために自分に合った方法で取り組むことができる。</p> <p>【語彙】日々語彙習得のための努力を継続し、英語力の向上につなげることができる。</p>
評 価 方 法	<p>①定期考査</p> <p>②英作文ノート</p> <p>③Navi Book</p>	<p>①定期考査</p> <p>②英作文ノート</p> <p>③Navi Book</p>	<p>①授業中の取り組み</p> <p>②英熟語小テスト</p> <p>③英作文ノート</p> <p>④Navi Book</p>

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間	語彙 読解 英作	【読解】Cutting Edge: Chapter1-4 【英作】必携英作文: 第1-4回 自由英作文 【語彙】英熟語ターゲット: No.1-317	【読解】 a: ①文章を読み、段落ごとの要旨を簡潔に説明できる。 ②文法及び構文の知識や語彙を駆使して文章全体の精読ができる。 b: 文章を読み、ストーリーを簡潔に説明したり、筆者の意見に対する自分の意見を簡潔に表すことができる。 c: 日々の予復習を継続して行い、自らの英語力向上に努めている。
前期 期末	語彙 読解 英作	【読解】Cutting Edge: Chapter5-11 【英作】必携英作文: 第5-10回 自由英作文 【語彙】英熟語ターゲット: No.318-840	【英作】 a: 英作文の基本的な書き方を理解し、授業内の演習や予復習でそれを活用できている。 b: ①和文英訳の際、日本語の字面をそのまま表現するのではなく、言い換えをすることで自分が言いたいことを的確に表現できている。 ②自由英作文の際、昨年度までに学習したパラグラフ・ライティングのスキルを用いて、自分が言いたいことを簡潔に表現できている。 c: 日々の予復習を継続して行い、自らの英語力向上に努めている。
後期 中間	語彙 読解 英作	【読解】Cutting Edge: Chapter12-16 【英作】必携英作文: 第11-15回 自由英作文 【語彙】英熟語ターゲット: No.841-1000、総合問題	【語彙】 c: 定期実施の小テストに向けて日々の予復習を継続して行い、自らの英語力向上に努めている。
後期 期末	語彙 読解 英作	【読解】総合問題 【英作】必携英作文: 第16-18回 自由英作文 【語彙】英熟語ターゲット: 総合問題	

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

教科	英語	科目	時事英語	単位数	1単位	年次	3年
使用教科書	なし						
副教材等	共通テストリスニング 分野別10min(エミル出版) Listening Essentials 3(啓隆社) CNN Comprehensive Trainer 2023(朝日出版社)						

### 1 授業及び学習の方法等

<p>1時間の授業の展開は以下の通り。          共通テストリスニング演習(シャドーイング等練習含む) ⇒ Listening Essentials演習(シャドーイング等練習含む) ⇒ CNN演習(リスニング+リーディング・ライティング・スピーキングを組み合わせる)</p> <p>授業のための予習は特に必要ないが、授業後の復習の時間を設けること。具体的には、ディクテーションやスクリプトあり・無しでのシャドーイング、オーバーラッピング練習などが挙げられる。          なお、定期考査時には、「トレーニングブック(共通テストリスニング)」「Revision Book(Listening Essentials)」の提出を求める。</p>
--

### 2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナチュラルスピードの英語を聞き、場面や話し手の意向を聞き取る能力を向上させる。【知識・技能】</li> <li>・最新のニュースを聞いたり読んだりすることで、オーセンティックな英語に慣れ、時事内容の知識を深める。【知識・技能】</li> <li>・シャドーイングやリプロダクションなどを活用して、ナチュラルスピードの英語の理解を図る。【思考・判断・表現】</li> </ul>
--

### 3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度まとまった英文を聞き、場面や話し手の意向を聞き取ることができる。</li> <li>・最新のニュースを聞いたり読んだりすることで、オーセンティックな英語に慣れ、時事内容の知識を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度まとまった英文を聞き、聞き取った内容に応じて適切に対処できる。</li> <li>・シャドーイングやリプロダクションなどを活用して、ナチュラルスピードの英語を理解し、適切に対処しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングにおける苦手な分野を把握し、それを克服するために自分に合った方法で取り組むことができる。</li> <li>・日々の努力を継続し、英語力の向上につなげることができる。</li> </ul>
評 価 方 法	①授業中の取り組み ②トレーニングブック ③Revision Book ④定期考査	①授業中の取り組み ②トレーニングブック ③Revision Book ④定期考査	①授業中の取り組み ②トレーニングブック ③Revision Book

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間	共通 テスト 時事 英語	【分野別 10min】第1-9回 【Listening Essentials】Unit1-3 【CNN】News1-2	a: ・ある程度まとまった英文を聞き、場面や話し手の意向を聞き取ることができる。 ・最新のニュースを聞いたり読んだりすることで、オーセンティックな英語に慣れ、時事内容の知識を深めることができる。
	共通 テスト 時事 英語	【分野別 10min】第10-19回 【Listening Essentials】Unit4-12 【CNN】News3-6	b: ・ある程度まとまった英文を聞き、聞き取った内容に応じて適切に対処できる。 ・シャドーイングやリプロダクションなどを活用して、ナチュラルスピードの英語を理解し、適切に対処しようとしている。
後期 中間	共通 テスト 時事 英語	【分野別 10min】第20-29回 【Listening Essentials】Unit13-16 【CNN】News7-10	c: 日々の復習を継続して行い、自らの英語力向上に努めている。
	共通 テスト 時事 英語	共通テスト総合演習 News11-12	

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。